

成果報告書

富士ソフト株式会社御中

2024年3月20日

株式会社EDUCOM
カスタマー戦略本部CS部

1. はじめに

本実証は、学習支援システムと校務支援システム間で統一されていない児童生徒識別子（UUID）を統合し、年度更新作業を簡便化するための調査研究の実施に当たるものと理解しています。

実施にあたっては、愛知県春日井市様、株式会社COMPASSとの協力体制を組み、統合作業に当たっております。

2. 取組概要

当方においては、校務支援システムにUUID取り込みのための機能を用意しているため、実証にて用意いただいた突合ツールは使用せず、以下手法にて突合を実現いたしました。

<作業1：学習eポータルUUIDを校務支援システムへ>

- a. 株式会社COMPASSのQubenaからGoogleSSOアカウント情報とUUIDを出力いただく
- b. 当方校務システムから名簿とアカウント情報を出力してマージ
- c. aとcのデータを突合
- d. 突合したデータを当方校務支援システムにインポートして統一化するUUIDにて更新

<作業2：学習eポータルUUIDをGoogleへ>

- a. 当方校務支援システムから前工程で更新したアカウント情報・UUIDを出力
- b. Google管理コンソールよりアカウント情報を出力
- c. aとcのデータを突合
- d. 突合したデータをGoogleにインポートして統一化するUUIDにて更新

3. 取組詳細

株式会社COMPASS : COMと表記

株式会社EDUCOM : EDUと表記

工程 No.	主担当	対応内容
1	COM →EDU	①データ出力&受け渡し
		(GoogleSSOアカウント情報及びUUID)
2	EDU	②C4thアカウント管理機能より出力
		(Googleアカウント情報、UUID)
3	EDU	③C4th児童生徒情報より出力
		(学校名、学年、組、番号、性別)
4	EDU	④③のC4th児童生徒情報に②C4thアカウント管理より出力したファイルを突合
		学校名、学年、組、番号、氏名で突合作業を実施
		学校名、学年、組、番号、氏名、UUID、Googleアカウントの突合ファイルを作成
5	EDU	⑤①と④のファイルを突合
		Vlookup関数による、Googleアカウントをキーとした突合作業を実施
6	EDU	⑤のファイルから差分を確認 Qubena対象件数：24607件 C4th対象件数：24878件 差分件数：271件
7	EDU ・学校	差分件数の調査 パターン1： C4thに所属あり、Qubenaに所属なし ⇒C4thにユーザーはいるが、Googleアカウント未発行を確認。転入予定者の登録であったため、Qubenaにはまだ登録されていないことを確認 8件 今回の作業から除外とした

		<p>パターン2： C4thに所属なし、Qubenaに所属あり ⇒転出生のアカウント停止漏れが48件（2月の月末に対応予定だった学校に停止の有無確認） 2月のアカウント停止漏れ25件（停止を実施）能登半島地震の影響による一時避難の転入生であることを確認23件（学校に停止確認） C4thには在籍させない。Qubenaは授業で利用するため、登録された児童であることを学校に確認今回の作業から除外とした</p> <p>パターン3： 複数転出入を繰り返している児童生徒の重複登録 ⇒C4thには1人で複数登録（別人登録）あり。</p> <p>Qubenaは1つのアカウントを都度利用しているため、C4thと一致しない児童生徒が存在する最終在籍アカウントでUUID突合を実施。最大3アカウントになっている児童生徒を確認。</p> <p>在籍がないアカウントは学校に連絡をし、アカウント停止の有無を確認 52件 今回の作業から重複登録者は除外とした</p> <p>パターン4： 特別支援学級でQubenaを利用しない児童生徒が発行されていない ⇒間違えてアカウントを利用されることを考慮している学校もあり、学校判断で特別支援学級のアカウント作成が分かれていた。学校事情により、今回の作業から除外とした。</p>
8	EDU	C4thUUID突合取り込みの実施
		24607件
		取り込み後、エラー件数398件を確認
9	EDU ・学校	<p>エラー内容の分析</p> <p>パターン1： 突合条件の番号が未入力の児童 245件 ⇒特別支援学級の児童生徒が対象 特別支援学級では組所属の変更が都度発生するため、番号を割り振っていない学校が多い。 一時的に番号を割り振っていただき、取り込めたことを確認</p> <p>パターン2： 氏名に2つ以上の空欄がある。 153件 ⇒外国籍の児童生徒が対象 システム上、空欄（スペース）で姓と名の判別をしているためエラーになることを確認</p>

		一時的に空欄を削除していただき、取り込めたことを確認
11	EDU	取り込み後のUUIDとQubenaのUUIDの差分を確認 問題ないことを確認
12	EDU	Google 従業員ID (UUID) 突合作業実施
13	EDU	⑥C4thアカウント管理からUUID, Googleアカウントを出力
14	EDU	⑦Google管理コンソールからアカウント情報を出力
15	EDU	⑧⑥のファイルと⑦ファイルで突合作業
16	EDU	⑧のファイルをGoogle管理コンソールで取り込み
17	EDU	エラー件数：0件

メインとなる突合における実作業工数（打合せ・作業準備・システムインポートエクスポートや処理時間などは除く）は、以下の通りです。

工程4 0.5人日×2名＝1人日（ダブルチェック）

工程5 0.25人日×2名＝0.5人日（ダブルチェック）

工程7 4人日×2名＝8人日（分析、教育委員会、学校確認作業含む）

工程9 2人日×2名＝4人日（分析、教育委員会、学校確認作業含む）

工程11 0.5人日×2名＝1人日（ダブルチェック）

4. 課題

作業実施に伴い、以下の点が課題として発生し、都度教育委員会や学校、業者との調整が発生しました。

以下については事前に調整を行っておくことが、作業期間の短縮や学校の確認負担の軽減（事前提示により、学校としては負荷の少ない期間に作業が可能）につながるものと考えております。

a. システム毎に必須入力と定義されているデータカラムが異なる

データ突合を行うため、事前に必須入力が必要となるデータカラムをお互いに認識合わせしておくことが重要。

b. 外国籍児童生徒の登録状況において、システムの色が出る（姓だけにすべて入力する、無理やり姓と名に分けて登録する、ミドルネーム登録できるものとできないシステムが発生する）

こちらも対策としては事前のすり合わせと、場合によっては学校での事前データ書き換えを行う必要が発生する。なぜなら業者がデータ編集を行うことはリスクが伴うことと、判断ができないため。

c. 同一児童生徒が何度も転入学を繰り返している場合のアカウント挙動の認識合わせ

当社システムとしては、転学等で学校を一度出て、再度戻った際には要録が別作成となることから、別アカウントとして作成します。

一方で学習システムとしては、過去のアカウントを流用する場合があります。そうなった際不整合が生じないよう対応ルール付けが必要となる。